

震災後のわが社 ～復興に向けた思い～

当リリー園は高齢者の方に利用して頂ける、楡葉・広野両町が出資した社会福祉法人「広葉会」が運営しております。

福島県浜通りの中央に位置し、温暖な気候の地で、昔を偲ばせる旧城跡・天神原遺跡岬公園を望み、東には太平洋を一望できる素晴らしい眺望の地に恵まれた自然環境のなかで、交流を図り安定した生活ができ、入所定員80名・ショートスティ10名で介護職員他職員は約60名おり「特別養護老人ホームリリー園」の事業をしておりました。

平成23年3月11日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故により、5年間休業しておりました。避難中入所者の皆さんやご家族の皆さんから、「ぜひ故郷楡葉で暮らしたい」との帰町要望が強くありましたので、約2年にわたり再開の準備をしてまいりましたが、関係者の御協力を得てようやく、平成28年3月30日に業務再開式を挙行し、翌月4月12日より入所者様の受け入れを開始しました。当初、入所定員24名での縮小再開でしたが、再開時介護職員が8名と少ないこともあり、配置人員からその半数しか受け入れることが出来ませんでした。

待機者を早期に受け入れたいため、ハローワークの求人や就職フェアに積極的に参加するなど継続的に募集活動を行ってきたところ、これまでの間、県内外から20名の多くの皆さんに入職していただきお世話いただいておりますので、本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成30年3月、現在では入所者様は35名、介護職員は17名ですが、今後、入所定員を44名・ショートスティ4名のご利用を目標に頑張っているところです。

最近の動向では、平成30年3月で町民が利用する仮設住宅等の供与期限が終了したことから、帰還住民が増加するとともに、入所希望者の増加が見込まれることやショートスティのご利用も増加傾向にあります。やはり生まれ育ったこの「楡葉町に帰ってきたい」という住民の皆様の声がありますので、施設に入所することができず、待機しておられる高齢者の方々がたくさんいらっしゃいます。地域の老人ホームとして受け入れ体制を整えることが当施設の大きな役割であると考えております。

それには介護スタッフが必要です。相双地域では特に福祉の人材が不足していますが、今春、地元の高校で福祉の分野を学習し、卒業して当施設に入社した新卒者がおり、まずは介護職員初任者として経験を積みながら介護福祉士を目指しています。福祉の仕事を目指し、入社しました。地域社会のため、当施設では現在の入所対応可能人数を倍増すべく、介護職員を広く募集しております。

「資格があっても経験がない方」「経験はあるけど自信がない方」など様々なご事情があると思いますが、新人職員に対しては「新人教育」を行い、サポート致しますのでご安心下さい。

当施設への応募の前に、「楡葉の特養リリー園はどんな所か 行ってみたい！見てみたい！」という思いの方はまずは仕事の話聞いて、「見学だけでも大歓迎」です。事前に御電話下さい。(0240-25-1777)

お気軽に見学や面談され、不安を解消して働いていただけるようにしっかりとご説明させていただきたいと思っております。

自然豊かなこの地で、地域や社会に貢献したいという温かい心を持った方のご応募をお待ちしております。

震災後のわが社

～被災地再開事業所紹介～

社会福祉法人 広葉会 特別養護老人ホームリリー園

所在地：双葉郡楡葉町

事業内容：老人福祉・介護事業

